



す み か 人生の住処

巽豊彦 著／巽孝之 編 四六判上製 264頁 2016年11月初頭刊 予価本体 2500円＋税

19世紀英文学を中心にカトリック的精神史を辿り直す
独特の学風。戦後40年間の長きにわたって
上智大学で教鞭を執った英文学者・巽豊彦の遺稿集。

●【第一部】英文学の紳士像／●【第二部】上智大学とカトリシズム

英文学が示した紳士の条件とオックスフォード運動が復興した自由教育の理念、そして著者が生涯を賭けて研究したJ.H. ニューマンの理念は、昨今の人文学軽視の風潮に対する抜本的な批判をも秘めている。

●【第三部】終の避暑地で／●【第四部】ある伝記の試みー父・巽孝之丞

イギリスにおける最良の文化的遺産を日本的環境にいかにか具体的に受容したかを、避暑地をめぐる随想と家族の評伝で綴る。

●英文学正統のアカデミズムとともにカトリック教会のジャーナリズムでも活躍した著者の多角的な側面が凝縮された本書には、真の教養人のありうる姿が描破されている。

【目次】

編者序文 巽孝之

序章 英国と英語と英文学／偶然の世界

第一部 英文学の紳士像

オースティンにおける紳士像／トロロプにおける紳士像／ウォーとカトリシズム／ディケンズにおける紳士像／理想としての自由教育ーニューマンの大学論のなかから

第二部 上智大学とカトリシズム

ニューマン・岩下・吉満ー復興への軌跡／舟川一彦著『十九世

紀オックスフォードー人文学の宿命』／戦後の高揚期を偲びつつー追憶の『ソフィア』／安堵の沙汰やみー刈田元司先生回想／極右と極左ー秋山健先生追悼

第三部 終の避暑地で

松目への道／ブブノワさんと富士見／ある修道士の生涯ーアロイジオ神父のこと／大学誘致の夢

第四部 ある伝記の試みー父・巽孝之丞

巽孝之丞小伝（草稿）／巽豊彦年譜
初出一覧／解説 小谷真理

【著者】 巽豊彦（たつみ・とよひこ）

1916年東京生まれ。1940年東京大学英文科卒業。5年間の兵役ののち、1946年から上智大学で教鞭をとり、上智短期大学の創立に尽力する。上智大学・上智短期大学・東京工科大学名誉教授。2015年12月9日逝去。

主著に『愛情は空気のごとく』（中央出版社）、『人生の風景』（南窓社）、『人生の意味』（南窓社）、主な訳書にJ.H. ニューマン『アポロギア』、イーヴリン・ウォー『夜霧と閃光ーエドモンド・キャンピオン伝』、エリザベス・ギャスケル『ルース』他多数。

【編者】 巽孝之（たつみ・たかゆき）慶應義塾大学教授。著者の長男。

ご注文 FAX 03-3234-5932

貴店印	●お申込み数 冊	彩流社刊	巽豊彦 著／巽孝之 編	予価（本体 2500円＋税）	年 月 日
		書名	人生の住処（仮） 巽豊彦遺稿集		
		ご担当者名＝	ISBN978-4-7791-2274-3 C0098		